

衆議院選挙

—8. 30投票—

憲法・教育・くらしを守ろう！

国民犠牲の自公政権に審判を下し、国民が主人公の政治を実現しよう！



財界・大企業中心の政治から労働者・国民が大切にされる政治へ！

不況を口実に大企業が「派遣切り」を強行し、多くの非正規労働者が路頭に迷っています。大企業は労働者犠牲のもと、バブル期以上の史上最高の利益をあげながら、不況になると、人間をモノ扱いし、使い捨てにしています。このような事態を引き起こした根本は 99 年に、自民・公明・民主・社民各党の賛成で「労働者派遣法」を改正し、派遣労働を原則自由化したことにあります。

今回の衆議院選挙で、財界・大企業優先の政治を根本から変え、非正規雇用から正規雇用へ、最低賃金の大幅引き上げ、長時間労働の是正、サービス産業の根絶など、労働者が安心して生きいきと働けるためのルールをみんなの力でつくっていきましょう！

憲法9条改悪は許さない！

自民党は「改憲」、公明は「加憲」民主党は「創憲」と言いながら、憲法改悪による海外での武力行使を可能にしようとしています。今回の衆議院選挙で改憲勢力が勝利すれば、憲法改悪のための国民投票を実施し、一気に憲法改悪を行う可能性もあります。

今回の衆議院選挙は、まさに日本の国のあり方の根本が問われる重要な選挙です。

「教え子を再び戦場に送るな」の決意を新たに、平和と民主教育を守りましょう！

消費税増税は絶対にNO！

「社会保障の財源のため、消費税増税」が必要と多くの政党が主張しています。消費税が導入されて20年。総額213兆円が国民の懐から奪われました。導入時の「福祉のため」は大うそで、実際は、そのほとんどが大企業の減税につぎ込まれました。財源と言えばすぐに「消費税」ではなく、このような大企業優先の税制を見直したり、米軍への「思いやり予算」など軍事費の削減などで、社会保障のための財源は十分に確保できます。

私たちの生命とくらしをまもるために積極的な政党選択をしましょう。



- 今度の衆議院選挙で何が争われるのでしょうか。
- ① 財界・大企業優先で、労働者・国民の生活を破壊する政治か、大企業の横暴を許さず、労働者・国民が主人公の政治か。
 - ② 消費税増税や年金・医療など社会保障の切り捨てで国民のくらしを破壊する政治か、軍事費削減や大型開発のムタを省き、税金の使いみちを変えて、国民のくらしを中心にきりかえる政治か。
 - ③ アメリカ言いなりで、憲法9条を改悪し、「戦争する国」に踏み出す政治か、憲法9条を守り、活かし、世界とアジアの平和に貢献する政治か。
 - ④ 改悪教育基本法に基づき、「競争と管理の教育」「戦争する国を支える国家に忠実な人づくりの教育」を進める道か、憲法や子どもの権利条約に依拠し、すべての子どもたちを大切にすることを進める道か。
- このように今度の衆議院選挙は国民の生命とくらし、平和、教育、そして子どもたちの未来に直結しています。国民犠牲の自公政権に終止符を打ち、政治革新を実現して、私たち教職員の切実な要求の実現を勝ち取りましょう！

私たちの選択で 二十一世紀に子どもたちが輝く！

速報
NO. 13-①

通番 24 号
2009.8.18

全教職員に
回覧してください。

